

より安全で、安心に暮らせる地域にするには!

犯罪の抑止と防犯について～県警本部小栗警務部長に聞きました～

●**山科** 交番・駐在所整備の基本的な考え方をお聞かせ下さい。
警務部長 交番・駐在所のもつ顔の見える関係は大切だが、広域化・スピード化する犯罪への対応との両立が悩ましい問題と考える。

●**山科** 交番・駐在所は過疎地において、特に高齢者や子供たちにとって地域の安全の見張り役も含め心強い存在だと思う。交番・駐在所の統廃合を進める理由は何か。
警務部長 広域化・スピード化する犯罪に対応すると東京など県外に捜査員を派遣することが増え、捜査員の捻出が避けられない。事件事故の多くは街中が中心で、新庄署の場合も、対処を考えれば駅前交番の人員を増やしたい。昨年の検挙率は60%であり、全部検挙できているわけではなく「悪いことをしても捕まらない」と思われてしまう。

●**山科** 地域の防犯も駐在所があればこそであり、私自身としては駐在所の統廃合はすべきでないと考ええる。行財政改革で病院や警察も統廃合の方向にあるが、安心・安全を担保するためには統廃合はすべきでない。現在の動きは、社会のあるべき姿から逆行していると考えている。
警務部長 人員的には、警察官は緩やかに増えているが、警察に対する様々な要望に応えるだけの十分な数ではないので、不足分をなんとか捻出したいと思っている。

●**山科** 駐在所を統廃合する場合、地域住民の不安にどう対応していくのか。
警務部長 駐在所を統合した場合、基本的には複数勤務になるの

で、一人パトロールに出ても、もう一人は在所できる。また、機動力を確保するために各交番・駐在所にパトカーを配置している。最近では、パトメロと言ってパトカーが音楽を鳴らしながら走っているが、家の中でも警察が来たことがわかるようになり安心してもらえると考えている。

●**山科** 北山形駅の民間交番を視察したが、見守り隊の方たちが多数出入りし、子どもの安全について意見を交わす場があった。地域のコミュニケーションが形成されると思う。
山科 萩野駐在所、地域の方は泉田駐在所と呼んでいるが、駅前交番に統合されると聞いて地域住民が不安に思っている。議会でも質問したが、主要道路である国道13号線沿いに、金山町まで全く駐在所が無くなるのはやはり心配である。代替措置のようなものはないか。

●**山科** 萩野駐在所、地域の方は泉田駐在所と呼んでいるが、駅前交番に統合されると聞いて地域住民が不安に思っている。議会でも質問したが、主要道路である国道13号線沿いに、金山町まで全く駐在所が無くなるのはやはり心配である。代替措置のようなものはないか。
警務部長 統合しても地区担当の警官は残るし、地域に出向いてこれまで通り住民に接することで顔が見える関係を維持していきたい。

●**山科** 先日、街頭防犯カメラの設置の話が出ていたが、自治体に要請するだけで警察では設置しないのか。
警務部長 警察としても必要な

ものは設置していきたいが、すべて警察で賄うことは困難であり、自治体への働きかけも同時進行で行う。

●**山科** 私の考えでは、人通りの少ない所や暗い夜道等の方が危険だと思うが、そういう所への設置についてはどうか。
警務部長 駐在所の代替措置として防犯カメラを設置するのは難しいが、警察官が地域住民に数多く姿を見せることで安心につなげていきたい。

●**山科** 犯罪抑止のためには警察官の姿を見せなければならぬという考えには共感できる。交番・駐在所の整備3か年計画はどのようにして作ったのか。
警務部長 概ね3年先を用途に計画を立てて、該当する地域住民に個別に説明し、要望があれば説明会も開催している。なお、統合ありきでなく、必要な所には新規に設置している。

●**山科** 公表した反応はどうか。
警務部長 「仕方ない」「なんとかしてほしい」という意見が両方ある。警察が来なくなる、いなくなる、と不安をもっている方が多いので、「こちらから伺います」「公民館にも出向きます」と丁寧な説明をして最後には納得して頂けるようにと考えている。

●**山科** 出前交番はどれくらいやっているのか。
警務部長 昨年1～10月に県内で2、4、4、8回行っている。概ね月一回実施し、平成23年は2、9、5、5回、約95、000人の方に来て頂いている。

●**山科** 効果は上がっているのか。
警務部長 振り込め詐欺の注意喚起など情報発信も行うが、そこに警察官が行って地域の人に顔を見せることが成果だと思う。

●**山科** 今後、地域社会と交番・駐在所のあり方をどのように考えていくのか。
警務部長 コミュニティポリシングという考え方がある。地域の人と顔を合わせ、要望を聞いて地域の問題を解決していくという考え方だが、これはパトカーでぐるぐる回っていた時代の反省として出てきたもので、住民と顔を突き合わせて問題を解決する形の治安対策である。ただし、交番・駐在所をすべて残すということとイコールではない。交番に行っても誰もいないと、かえって失望感を与えかねない。パトロールしてほしい、交番にいてほしい、広域犯罪の対応などに加え、DV等家庭内の問題もほとんど警察にきている。いろいろな手段でコミュニティポリシングをやっていききたい。

●**山科** 耐震性等の問題もあるが、交番・駐在所を残して頂くことはできないか。
警務部長 交番・駐在所が県民に安全・安心を与える一つの大きな要素であるとは理解しており、あまり手を付けたくない気持ちはある。しかし、一方で統合しないとニーズに対応できないのも事実であり、ギリギリの判断している。議員はじめ、住民の皆様には交番・駐在所を大切に頂いて大変ありがたい。

●**山科** 広域化する犯罪の裏側で、地域の抑止力と駐在所による抑止力は両方必要だと考えるの
 でこれからも訴えていきたい。

産業振興・雇用創出対策特別委員会現地調査 平成25年1月30日

私の
 考え

- 有機エレクトロニクスイノベーションセンター建設地(平成25年4月オープン予定)(米沢市)
- 山形大学工学部有機エレクトロニクス研究センター(米沢市)
- トヨタ自動車東日本株式会社(宮城県大衡町)

有機ELは米沢が世界的な開発の拠点となっています。その開発スピードはめざましく、実用化には無限の可能性をもっていますが、現実的に1日も早い実用化が望まれます。議会でも取り上げられることの多い有機ELですが、まだまだ議論が追い付いていないと感じました。地元で最先端の研究をしている施設があることは、地域振興そして人づくりという点でも重要です。

また、トヨタ自動車東日本はコンパクトカー専門メーカーとして設立され、国内3番目の製造拠点として位置付けられています。宮城から新庄を経由し酒田港から輸出することはできないのか、やはり早期の道路整備が不可欠になります。



有機EL研究の第一人者である山大工学部城戸教授をはじめとする教授陣からお話を伺いました。



トヨタ自動車東日本株式会社では、会社概要や東北6県からのビジネス参入の希望状況等について説明を受けました。